

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2019-213965(P2019-213965A)

【公開日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-051

【出願番号】特願2019-175923(P2019-175923)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/072 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/072

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月4日(2019.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

腹腔鏡手術において使用する装置であって、

組織相互作用部分(130)を有する末端と、

デバイスアクチュエータ(110)を有する基端と、

基端及び末端を有する保護鞘体(122)であって、前記組織相互作用部分(130)と前記デバイスアクチュエータ(110)との間で少なくとも部分的に延在する保護鞘体(122)と、

前記保護鞘体(122)内に配置された複数の嵌合伸縮区画(254)であって、前記保護鞘体(122)に対して、前記嵌合伸縮区画の第1嵌合伸縮区画(424')の本体区画(528')が前記嵌合伸縮区画の第2嵌合伸縮区画(424")の本体区画(528")から離間されている伸張形態(432)と、前記嵌合伸縮区画の第1嵌合伸縮区画(424')の本体区画(528')が前記嵌合伸縮区画の第2嵌合伸縮区画(424")の本体区画(528")と接触している縮動形態(534)との間で移動可能である、複数の嵌合伸縮区画(254)と、

を具備し、

前記複数の嵌合伸縮区画(254)は、前記デバイスアクチュエータ(110)の操作に応じて、前記伸張形態(432)から可動であり、

前記組織相互作用部分(130)は、前記デバイスアクチュエータ(110)の操作に応じて、組織と相互作用するように構成されている、装置。

【請求項2】

前記組織相互作用部分(130)は、把持機構、挾持区画、結合機構、または、切斷機構の少なくとも1つを有する、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記把持機構、前記挾持区画、前記結合機構、または、前記切斷機構の少なくとも1つは、前記デバイスアクチュエータの操作に応じて組織と相互作用するように構成されている、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記デバイスアクチュエータは、前記操作に応じて、前記嵌合伸縮区画を移動するように構成されたロッド(1554)を有する、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

切斷機構(640)と、前記保護鞘体(122)内に配置された少なくとも1つのステープル押圧

体(1574)と、をさらに有し、

前記ロッド(1554)の平行移動に応じて、前記少なくとも1つのステープル押圧体(1574)が平行移動可能であり、

前記ロッド(1554)は、前記切断機構(640)を動かすようにさらに構成されている、
請求項4に記載の装置。

【請求項6】

前記少なくとも1つのステープル押圧体(1574)は、前記ロッド(1554)の遠位移動及び近位移動に応じて、前記少なくとも1つのステープル押圧体(1574)の遠位移動及び近位移動を可能にするように構成された隆起された追随区画(1592)と隆起された前側区画(1591)とを有し、

前記切断機構(1540)は、隆起された追随区画(1592)を有し、これにより、前記切断機構(1540)の移動が、前記少なくとも1つのステープラ押圧体(1574)の移動に対して遅延される、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記保護鞘体(122)内に配置された切断機構(640)であって、前記保護鞘体(122)に対し摺動可能であり、前記複数の嵌合伸縮区画(424'、424")の少なくとも1つにおける下側区画スロット(439)を通して摺動可能である切断機構(640)をさらに有する、請求項1に記載の装置。

【請求項8】

前記複数の嵌合伸縮区画の第1嵌合伸縮区画(424')は、取付け区画(326)をさらに有し、

前記複数の嵌合伸縮区画の第2嵌合伸縮区画(424")は、前記複数の嵌合伸縮区画の第1嵌合伸縮区間(424')の前記取付け区画(326)を摺動可能に受容するよう適合された本体区画ノッチ(323)をさらに有し、これにより、

前記複数の嵌合伸縮区画の第1嵌合伸縮区画及び第2嵌合伸縮区画(424'、424")は、前記伸張形態(432)と前記縮動形態(534)において結合が維持される、

請求項7に記載の装置。

【請求項9】

前記保護鞘体(122)、前記取付け区画(326)、前記本体区画ノッチ(323)は、前記複数の嵌合伸縮区画(424'、424")を摺動動作に制限するよう適合されている、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記デバイスアクチュエータは、前記操作に応じて、前記嵌合伸縮区画を移動するよう構成されたロッド(1554)を有し、

前記ロッド(1554)、前記取付け区画(326)、前記本体区画ノッチ(323)は、前記デバイスアクチュエータ(110)の第2操作に応じて、前記縮動形態(534)から前記伸張形態(432)への移動を可能にするよう適合されている、請求項8に記載の装置。

【請求項11】

前記装置を単回使用に制限するよう構成された繫止鞘体(1060)または挾持用鞘体(1050)の少なくとも1つをさらに有する、請求項1に記載の装置。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2019213965A5	公开(公告)日	2020-02-06
申请号	JP2019175923	申请日	2019-09-26
[标]申请(专利权)人(译)	恰到好处手术		
[标]发明人	ピンセントマタ アランバチマン リチャードエヌグレンジャー		
发明人	ピンセント マタ アラン バチマン リチャード エヌ.グレンジャー		
IPC分类号	A61B17/072		
CPC分类号	A61B17/07207 A61B2017/00336 A61B2017/00991 A61B2017/2901 A61B2017/320052 A61B2090 /0814 A61B17/3205		
FI分类号	A61B17/072		
F-Term分类号	4C160/CC29		
代理人(译)	青木 笛 伊藤幸一 音 IsamuHajime		
优先权	13/733815 2013-01-03 US		
其他公开文献	JP2019213965A		

摘要(译)

为了提供一种包括致动器，延伸部分和组织相互作用部分的医疗装置。钩部分具有头部和颈部，以及 (ii) 至少一个主体部分，该至少一个主体部分与至少一个延伸的钩部分联接并与之形成一体。第一伸缩部分的至少一个延伸的钩部分可操作地联接到第二伸缩部分的主体部分。组织相互作用部分可操作地联接到延伸部分，并且包括抓持机构，缝合机构和切割机构中的至少一个。致动器适于控制延伸部分和组织相互作用部分中的至少一个。选图：图1